

令和7年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

令和7年6月6日

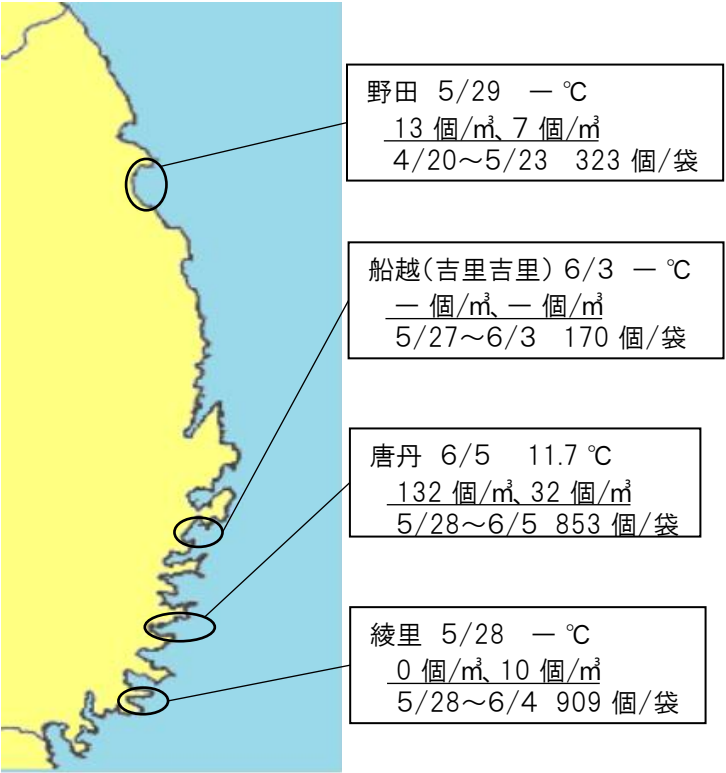
発行：岩手県水産技術センター
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



付着稚貝の出現が継続しています。残りの採苗器を
全数投入してください。

< 調査結果の概要 >

- 6 / 5 の唐丹湾の10m深水温は11.7℃、透明度は13mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイの殻長200μm未満の小型ラーバが132個/m³（昨年同時期：86個/m³）、200μm以上の大型のラーバが32個/m³（昨年同時期：107個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイのラーバは1,225個/m³、キヌマトイガイのラーバは186個/m³、エゾイシカゲガイのラーバが120個/m³でした。昨年同時期と比較すると、ムラサキイガイがかなり多め、キヌマトイガイ及びエゾイシカゲガイが多めでした。
- 地域間で差が見られますが、ホタテガイ稚貝の付着が継続しています。
- 県南部では853～909個/袋の付着稚貝が確認され、付着の盛期と考えられます。採苗器が残っている場合は、残りを全数投入してください。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満, 200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

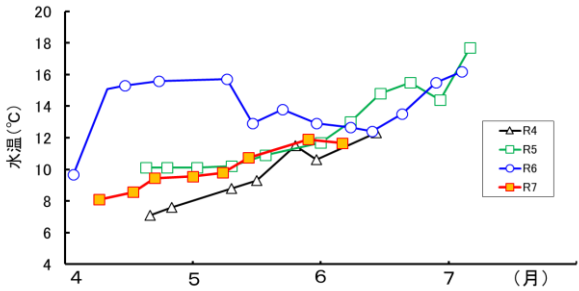


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

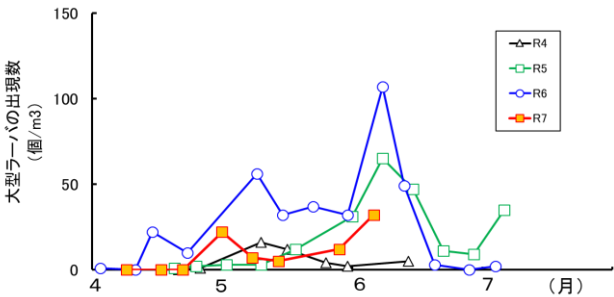


図3 唐丹湾におけるホタテガイの大型ラーバ出現数

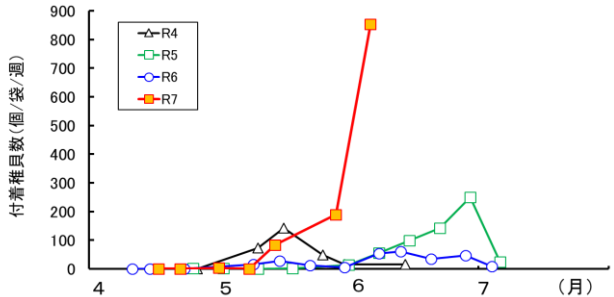


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数

次報は、6月13日頃に
発行する予定です。